

字幕付きCM放送の 本格実施に向けて

2014年2月3日

一般社団法人日本民間放送連盟

1. 字幕放送への取り組み

- テレビ各社は字幕放送の充実に積極的に取り組んでいる
- 番組では、行政指針の対象となる放送番組における字幕番組の割合は、**93.3%**に達する（在京テレビ5社の平成24年度実績）

2. 民放にとってCMとは

- 民放のビジネスは、CM枠（時間）を広告主に販売することで成り立っている
- どのようなCMを放送するかは、広告主が判断
- CMは広告主の責任で制作され、テレビ局に納品される
- テレビ局の責任は、納品されたCMを確実に放送し、視聴者にお届けすること

3. CMと字幕の関係

- デジタル化以前は、クローズド・キャプションによる字幕の付与を希望する広告主はほぼいなかった
- このため、テレビ各社は、CM放送中に番組の字幕がこぼれないようにシステムを構築
- デジタル化後、CMへの字幕付与を希望する広告主が登場

4. 字幕付きCMへの対応を開始

⇒ 字幕付きCMに対応するためには、
新たな作業手順の構築とシステム改修が必要

○2010年7月に民放連で決定した検討方針

1. 在京テレビ5社でトライアルを実施し課題を共有
2. 最終的には、テレビ各社で安全・確実に放送できる仕組みをつくることが目標

5. 検討の実際

- 検討組織－2010年2月に設置したWG。現在のメンバーは、在京テレビ5社のCMおよび技術担当者12名。CM運行検討小委員会の下部組織と位置付け
- CM素材の運用面などについては、広告会社側の団体である日本広告業協会と整理・検討を随時、行っている

6. トライアルの実際と成果

- 在京テレビ5社では、トライアルを実施できる体制整備が完了（2011年秋頃）
- トライアルの成果をとりまとめた「トライアルにおける字幕付きCM素材搬入ガイドライン」を策定（2013年4月）
⇒ 広告主、広告会社のCM素材制作が容易に
- 2013年11月には、「字幕付きCMに関するテレビ全社会議」を開催（137社221人が出席）。
トライアルの成果を共有

7. 現在実施中のトライアル

〈TBSテレビ〉

『A-Studio(エーススタジオ)』(金 23時～23時30分、広告主：花王)

『未来の起源』(日 22時54分～23時、広告主：J S R)

〈テレビ朝日〉

『奇跡の地球物語～近未来創造サイエンス』(日 18時30分～18時56分、広告主：キヤノンマーケティングジャパン)

〈フジテレビジョン〉

『全力教室』(日 21時～21時54分、広告主：花王ほか)

『ライオンのごきげんよう』(月～金 13時～13時30分、広告主：LION)

『タビノイロ。～旅美人への手紙～』(火 21時54分～22時、広告主：東日本旅客鉄道)

『Beauty Recipe～キレイになる賢い時間の過ごし方～』(木 22時54分～23時、広告主：花王)

〈テレビ東京〉

『ぴかぴかマンボ』(土 21時54分～22時、広告主：花王)

〈毎日放送〉

『サワコの朝』(土 7時30分～8時、広告主：パナソニック)

8. 本格実施に向けて

- 本格実施に向けて、放送局サイドからは3つの課題がある
 - a. 放送システムの改修
 - b. 業務フローの確立
 - c. 取り引きルールに関する合意形成

放送システムの改修①

～字幕放送システムの現状～

制作

納品・登録

送出

視聴



字幕制作



字幕データ

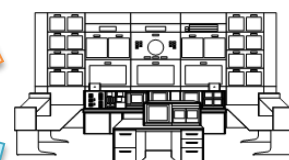
番組サーバ



字幕サーバ



CMバンク



マスター



送信所

ご家庭



テレビ

テレビの機能で
字幕を映像の上に描画

運用例①
完パケに字幕重畳し納品

運用例②
字幕は別納品

CM素材
(字幕データ付)

広告主

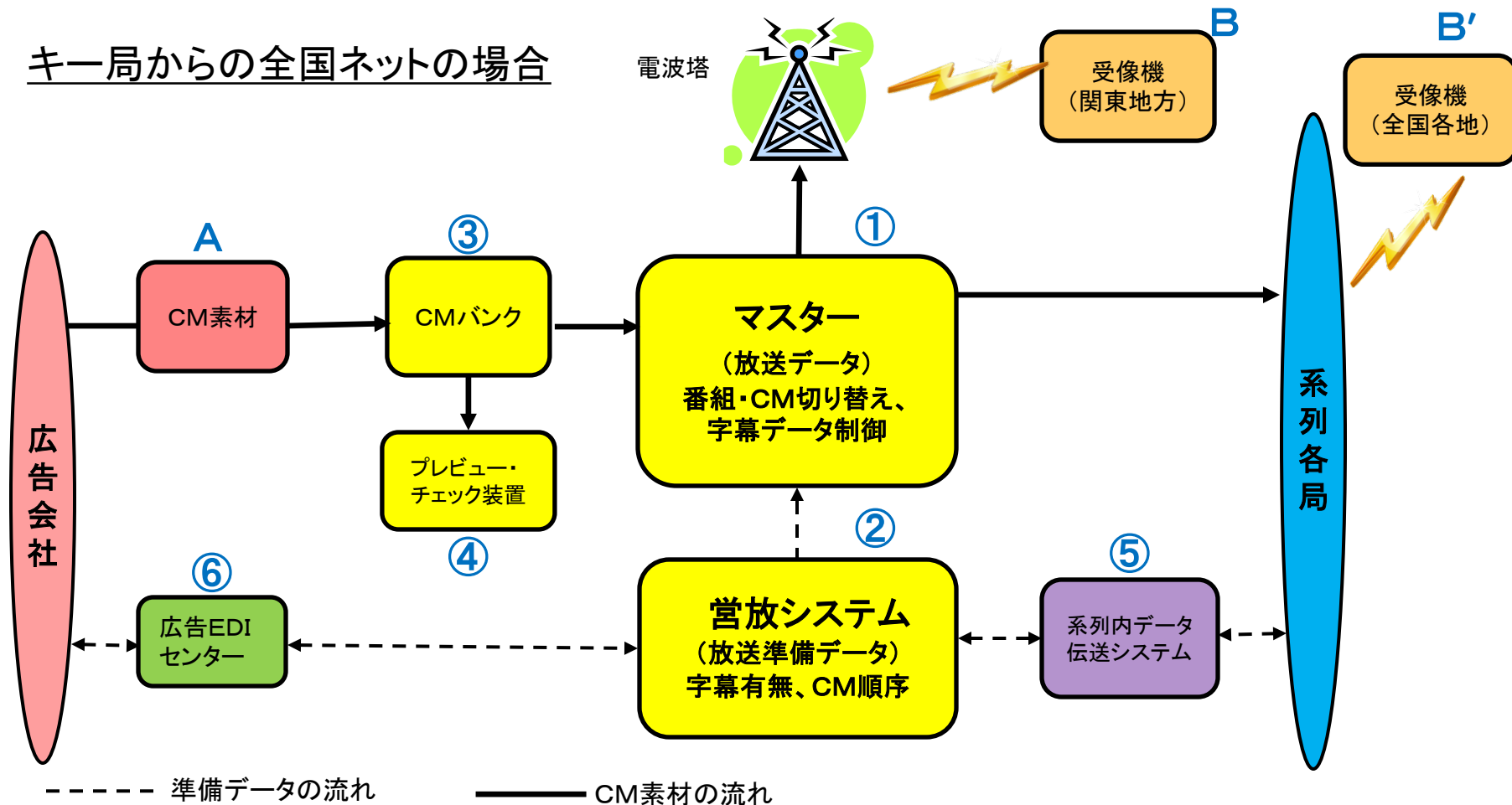
広告会社

CM制作会社

放送システムの改修②

～関連する機器・システム～

キー局からの全国ネットの場合



放送システムの改修③

～改修が必要な機器・システム～

- ① マスター(放送電波発信の心臓部)
- ② 営業放送システム
- ③ CMバンク
- ④ 字幕付きCMのプレビューおよびチェック機器
- ⑤ 系列間情報連絡システム
- ⑥ 広告会社とのCM放送情報交換システム(EDI)

⇒ 営放システム、マスターなどは字幕対応だけで改修すると巨額の費用。更新時期にあわせて対応する必要がある。

⇒ 系列間情報連絡システムやEDIは、系列局や広告会社と歩調を合わせる必要

業務フローの確立①

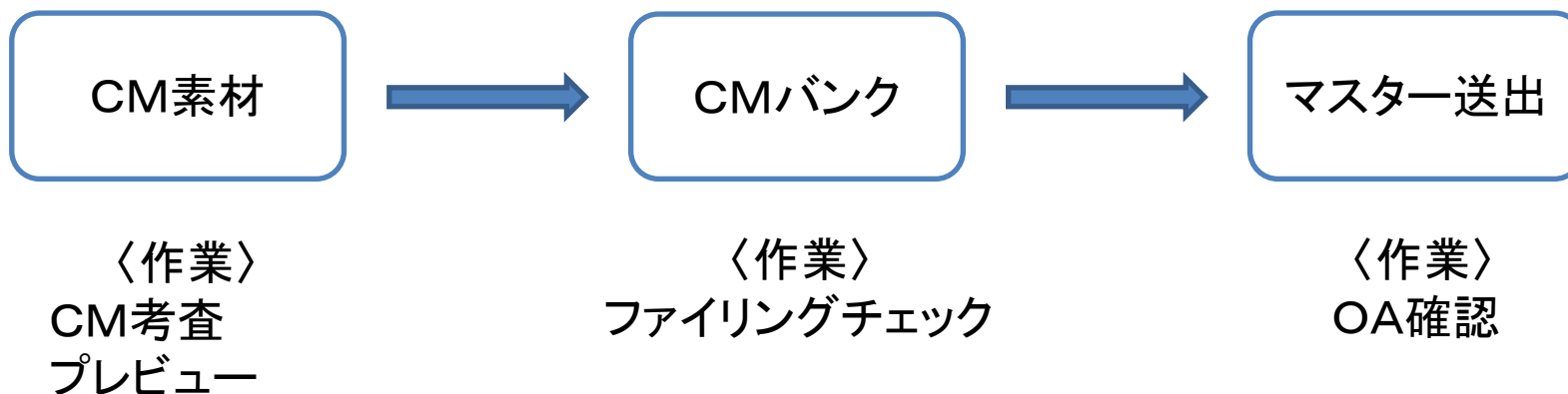
～CM素材の汎用性～

- 1つのCM素材は、原則としてどのテレビ局でも放送されうる。このため、統一規格にもとづき制作される必要がある
- すべてのテレビ受信機で確実に再生されることが必要
- 字幕なしCMについては、民放連と日本広告業協会で作成した搬入基準により、規格が確立されている
- 字幕付きCMについては、規格が確立されていない

業務フローの確立②

～CM素材の搬入から送出まで～

◇ 従来の業務フロー（例）

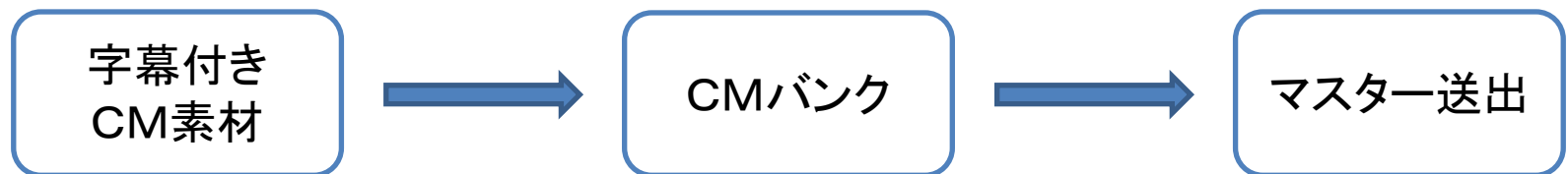


【参考】 1局で1週間で放送されるCMは、約6000本以上

業務フローの確立③

～字幕付きCMの場合～

◇ 字幕付きCM素材の業務フロー(例)



〈作業〉

CM考査

●字幕考査

プレビュー

●HD字幕プレビュー

●1セグ字幕プレビュー

〈作業〉

ファイリングチェック

●HD字幕チェック

●1セグ字幕チェック

〈作業〉

OA確認

●HD字幕チェック

●1セグ字幕チェック

⇒通常のCMに比べ、字幕付きCMを取り扱う作業量は、3倍程度となる。人的手当が必要

取り引きルールに関する合意形成

- 現状では、字幕送出における不体裁発生の可能性が拭いきれない
- プレビュー等に時間がかかるため、素材の差し替えなどで従来の対応ができない可能性がある

⇒上記に関する考え方やルールの整理が、広告会社、広告主との間でできていない

⇒現状は、トライアルということでご納得いただいている

9. 今後の課題

- 各社がマスター更新（改修）、システム更新（改修）を行う際に順次、字幕付きCMに対応していく必要がある
- さらにトライアルに取り組み、ノウハウを積み上げていく必要がある。また、素材搬入の共通ルール（CM素材搬入基準）を確立する
- 取り引きルールに関する業界内での合意形成。その一環として、設備投資および作業が増加するに伴い発生する「費用」について、検討する必要がある

終わりに

- 民放テレビ局として、字幕付きCMの重要性は十分認識している
- 4年前から取り組みをはじめ、着実に前進している
- 引き続き、受け入れ体制の整備に向けた努力を続けていく

平成25(2013)年11月29日

字幕付きCMに関する取り組みについて

日本民間放送連盟

民放連・営業委員会（委員長＝亀山千広・フジテレビジョン 社長）は、「トライアルにおける字幕付きCM素材搬入ガイドライン」（資料1）を作成するなど、字幕付きCMの搬入ルールの作成に向けた検討を進めています。営業委員会のこれまでの検討の経緯などは、以下のとおりです。

○ 実務検討のためのワーキンググループ（WG）の設置

字幕付きCMへの社会的関心の高まりなどを踏まえ、平成22(2010)年2月、「字幕付きCMに関するWG（現 字幕付きCMWG）」を設置し、具体的な検討に入りました。平成25(2013)年度は、在京テレビ5社のCMおよび技術担当者12名でWGを構成し、CM運行等対策部会の下部組織として位置付けています。

○ 検討方針の決定

平成22(2010)年7月14日、営業委員会で「字幕付きCMの取り扱いに関する検討方針」（資料2）を決定しました。検討方針では、▽字幕付きCMの検討にあたり、まず在京テレビ5社でトライアルを実施し、課題・問題点などの情報をWGで共有する、▽最終的には、テレビ各社において、字幕付きCMを安全・確実に放送できる仕組みを備えることを目標とする——ことを確認しています。

○ トライアル実施にあたっての留意事項、ガイドラインの作成

テレビ各社でトライアルに取り組むにあたり、必要最小限の事項をまとめた「字幕付きCMのトライアルに関する留意事項」を、平成22(2010)年に作成しました。その後、CM素材に関する技術的な課題の整理を行い、平成24(2012)年11月に同留意事項を〈第2版〉に改訂しました。さらに、平成25年(2013)年4月に、CM素材の搬入に関する部分を追加し、「トライアルにおける字幕付きCM素材搬入ガイドライン」としました。さらに、同年11月、同ガイドラインを一部改訂いたしました。

○ 今後の取り組みとトライアル事例

営業委員会では、トライアルで得られた課題・問題点などを共有するとともに、随時、ガイドラインに反映させることにしています。また、CM素材の運用面などについて、広告会社側の団体である日本広告業協会と整理・検討を随時、行っています。

今後は、テレビ全社での情報共有を一層、進めていくことにしています。

なお、字幕付きCMのトライアル事例を実施概要(資料3)として掲載しています。データは随時、更新します。

以 上

トライアルにおける字幕付きCM素材搬入ガイドライン

日本民間放送連盟・営業委員会

民放連・営業委員会は、テレビ各社で実施したトライアル事例から得た検討課題を情報共有した上で、CM素材の搬入に関する共通ルールを作成することを目的に、検討を進めている。

トライアルに取り組むにあたり、必要最小限の事項をまとめた「字幕付きCMのトライアルに関する留意事項」を、平成22(2010)年に作成した。

今後、テレビ各社で、字幕付きCMのトライアルをさらに進めていくにあたり、「留意事項」にCM素材の搬入に関する部分を追加し、ガイドラインとした。

[ガイドライン作成の前提]

地上デジタル放送では、テレビ受信機向けの12セグ放送と携帯受信機向けのワンセグ放送が行われている。12セグ放送については、各社の設備に大きな設計上の違いはないが、ワンセグ放送の字幕設備には2つの方式がある。

- ① 12セグ放送の字幕（HD字幕/S D字幕）データから変換し、ワンセグ放送で使用する。（素材にワンセグ放送用の字幕（携帯字幕）データがある場合でも、12セグ放送の字幕から変換する）
- ② 素材にワンセグ放送用の字幕（携帯字幕）データがある場合は、そのままワンセグ放送で使用する。ただし、素材に携帯字幕がない場合は、12セグ放送の字幕（HD字幕/S D字幕）データから変換し、ワンセグ放送で使用する。

上記の状況を踏まえ、テレビ各社で共通に運用できるCM素材が搬入されることを目途に、ガイドラインを作成した。

字幕付きCM素材の搬入について

1. 字幕付きCM

字幕付きCMとは、当該CMの音声その他音響を聴覚障害者に説明するための文字または図形（字幕）を重畳したCMを指す。

字幕付きCMで使用する字幕は、放送法の趣旨を踏まえ、聴覚障害者にとって理解しやすい、文字または図形とする。

⇒ 日本広告業協会「字幕制作における進行要領」参照

【補足】

放送法第四条（国内放送等の放送番組の編集等）第2項において、次のとおり規定されている。

「放送事業者は、テレビジョン放送による国内放送等の放送番組の編集に当たっては、静止し、又は移動する事物の瞬間的影像を視覚障害者に対して説明するための音声その他の音響を聴くことができる放送番組及び音声その他の音響を聴覚障害者に対して説明するための文字又は図形を見ることができる放送番組をできる限り多く設けるようにしなければならない。」

2. 搬入媒体

搬入媒体については、「テレビCM素材搬入基準」【2011年5月改訂版】で規定される「HDTVカセットテープ」および「ファイルベースメディア」のうち、当該テレビ社が指定する。

3. CM素材名

字幕を重畳した場合は、「CM素材名」に「字幕付きCM」である旨を明示する。その場合、CM素材名の冒頭に記載することを原則とする。また、ケース用カードの特記事項欄にも、「字幕付きCM」である旨を明示することが望ましい。

4. CM素材の搬入

字幕付きCM素材の搬入は、事前に当該テレビ社と調整のうえ、余裕をもって行う。

また、CM素材の搬入に先立ち、▽字幕付き映像資料（絵コンテまたは動画データ）、▽音声原稿、▽字幕原稿——を当該テレビ社に提出する。

5. 字幕データの重畳

(1) 字幕フォーマット

「HDTVカセットテープ」に字幕を重畳する場合の字幕フォーマットは、ARIB STD-B37「補助データパケット形式で伝送されるデジタル字幕データの構造と運用」

で規定される字幕補助データ packets 形式とする。

「ファイルベースメディア」に字幕を重畳する場合のフォーマットは、ARIB TR-B31「ファイルベースによる番組交換方式」で規定されるMXF ANC字幕フォーマット準拠とする。

(2) 字幕 packets の重畳位置

字幕補助データ packets は、ARIB TR-B23「放送局間の情報伝送に使用する補助データ運用規定」で規定される字幕補助データ 1、字幕補助データ 2、字幕補助データ 3 領域に重畳する。

字幕補助データ 1 には「HD字幕」、字幕補助データ 2 には「SD字幕」、字幕補助データ 3 には「携帯字幕」を必ず重畳する。

なお、字幕運用を行わない場合、字幕補助データ 1、字幕補助データ 2、字幕補助データ 3 領域については、何も重畳しない。

(3) 字幕 packets の挿入ルール

ロール長すべてに、「字幕データ」が途切れずに重畳されていること。

(4) 字幕重畳のタイミング

ロール開始後 1 秒間は、字幕本文データの重畳を行わない。

ロール終了の 1 秒前までに、字幕本文データを確実に消去する。その後は字幕本文データの重畳を行わない。

ロール終了 1 秒前までに字幕本文データが消去されていない場合、ロール終了の 1 秒前からロール終了までの間、放送局設備により画面消去が行われることがある。

(5) 字幕ページ間隔

字幕ページが提示され、次の字幕のページが提示されるまでの間隔は、2 秒以上とする。

6. 字幕表現に関する技術的な留意事項

字幕表現に関する規格上の機能を「別表」として整理した。HD字幕により字幕制作を行い、SD字幕、携帯字幕に変換することを前提とした場合、設備・受信機上の制限などを踏まえ、以下の点に留意する。

(1) フォントサイズ

同一行では、異なるフォントサイズを用いてはならない。

同一ページにおいて異なるフォントサイズを用いる場合は、画面の上から下に向けて、大から小になるように指定する。

(2) 文字サイズ

字幕で使用できる文字サイズは、標準、中型、小型とする。小型は、ルビとしてのみ使用する。

(3) 外字（D R C S）

同一の字幕ページで同時に使用する外字（D R C S）の最大数は、5種類とする。

(4) 動作位置

A P S（文字/行単位での指定）と A C P S（ドット単位での指定）が、同一ページ内で混在してはならない。同一行内では、動作位置の指定はルビの場合を除き1回のみ行う。

(5) 会話文などの配置

複数名での会話を字幕で表示する場合、会話文を同一ページに配置すると、携帯字幕に変換した際に、制作意図と異なる順番に表示される可能性がある。したがって、以下の点に留意する。

- ① 同一ページの字幕を左右に分けて配置してはならない。
- ② 同一ページの字幕を上下に分けて配置する際に、行と行の間に隙間を空ける場合は、1行の半分以上の隙間を空ける。

(6) 縦書き

当面、「縦書き」の運用は行わない。

(7) ロールアップ

当面、「ロールアップ」の運用は行わない。

(8) 字幕言語

字幕言語は「日本語」とする。第二言語は、適用範囲外とする。

7. 10桁CMコード

映像・音声が同一のCM素材であっても、字幕データを重畳した素材と、重畳していない素材が存在する場合は、それぞれ異なる10桁CMコードを付番する。

さらに、字幕データを重畳した素材のうち、▽字幕補助データ領域に格納する字幕データが異なる組み合わせの場合、▽字幕テキストデータの内容・表現が異なる場合――

についても、それぞれ異なる10桁CMコードを付番する。

8. ファイルベースメディアにおけるCM素材交換メタデータ

ファイルベースメディアで、字幕付きCMを搬入する場合、「CM素材交換メタデータ」の「16 CM字幕有無」には、要素「有り」、属性「1」とセットする。

《参考》

字幕付きCMに関し、参照すべき標準規格等の関連文書は次のとおりとする。

- (1) ARIB STD-B24「デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式」 第一分冊 第3部 第1章～第8章
- (2) ARIB STD-B36「デジタルテレビジョン放送におけるデジタル字幕ファイル交換フォーマット」
- (3) ARIB STD-B37「補助データパケット形式で伝送されるデジタル字幕データの構造と運用」
- (4) ARIB TR-B14「地上デジタルテレビジョン放送運用規定」 第一分冊(2/2)第三篇【第2部】Aプロファイルに関する運用規定第4章
- (5) ARIB TR-B14「地上デジタルテレビジョン放送運用規定」 第一分冊(2/2)第三篇【第4部】Cプロファイルに関する運用規定第6章
- (6) ARIB TR-B23「放送局間の情報伝送に使用する補助データ運用規定」
- (7) ARIB TR-B31「ファイルベースによる番組交換方式」 第5章
- (8) 民放連技術規準T021「文字放送の8インチフロッピーディスクによる番組交換」
- (9) 民放連技術規準T027「文字放送の3.5インチフロッピーディスクによる番組交換」
- (10) 民放連技術規準T029「HD TVカセットテープによる番組交換」
- (11) 民放連技術規準T031「ファイルによるテレビ番組交換暫定規準」

以上

別 表

平成25(2013)年4月1日

NAB字幕－ARIB字幕 字幕表現に関する規格上の機能整理

民放連・字幕付きCMWG 技術TG

項目	NAB字幕	ARIB規格・規定		ARIB規格の解説	備 考
		12セグ放送 (HD字幕/SD字幕)	ワンセグ放送 (携帯字幕)	HD字幕から 携帯字幕への変換	
字幕表示領域	15.5文字×8行	960×540(HD) 720×480(SD)	16文字×3行 または 12文字×4行 (受信機機能)	無視	NAB字幕からHD字幕の変換では、620×480を使用。NAB字幕からSD字幕の変換では、620×416を使用。
フォント サイズ	固定	16、20、24、30、36 (36がデフォルト)	固定	フォントサイズに関 係なく固定サイズに 変換。	
文字サイズ	標準 中型 小型	標準 中型 小型	標準 中型	標準・中型は そのまま。	中型は、標準より字方向の大きさ のみが半分の大きさの文字。小型 は、標準より字方向および行方向 の大きさがそれぞれ半分の大き さの文字。 中型・小型は、英数・平仮名・片 仮名が使用可能。
外字 (DRCS)	標準 中型 小型	標準 中型 小型	標準	中型・小型からの変 換は、機器仕様によ る。	携帯字幕では、規格上、同一ペー ジに5種類まで可能。
ルビ	小型を使用	小型を使用	指定不可	ルビは変換しない。 (削除される)	小型文字はルビと判定される。
字間隔	固定	指定可能 (4がデフォルト)	指定不可	無視	フォントサイズ、文字サイズによ って、指定可能な値がTR-B14で 規定されている。
行間隔	固定	指定可能 (24がデフォルト)	指定不可	無視	フォントサイズ・字間隔・行間隔 がデフォルトの場合、40(w)× 60(h)が1文字の表示区画とな る。
動作位置	0.5文字/0.5行単 位での指定(APS)	1ドット単位での指 定(ACPS) 0.5文字/0.5行単位 での指定(APS)	指定不可	「スペース」もしく は「改行」に置換	

項目	NAB字幕	ARIB規格・規定		ARIB規格の解説	備考
		12セグ放送 (HD字幕/SD字幕)	ワンセグ放送 (携帯字幕)	HD字幕から 携帯字幕への変換	
表示色	前景色	16色	128色 (64色は半透明)	8色	使用可能8色は そのまま。
	背景色	16色	128色 (64色は半透明)	指定不可	無視
	縁取り	指定不可	128色 (64色は半透明)	指定不可	無視
横書き	対応	対応	対応	対応	
縦書き	指定不可	対応	指定不可	機器仕様による。	
フラッシング	対応	対応	対応	対応	
スクロール	指定不可	対応 (横書きのみ使用可能。 1行字方向スクロール)	指定不可	無視	
アンダーライン	対応	対応	指定不可	無視	
囲み	対応	対応	指定不可	無視	
ロールアップ	指定不可	対応 (ただし、受信機の実装はオプション)	指定不可	無視	1ページ1行でロールアップしながら表示する受信機機能。
補足事項	NAB技術規準(現民放連技術規準)によって規定される字幕のことを、通称「NAB字幕」と呼ぶ。	電波産業会(ARIB)において規定される字幕のことを、通称「ARIB字幕」と呼ぶ。	携帯受信機における字幕機能の実装は、受信機オプションであり、必須ではない。	「無視」:当該項目の制御を無視して変換処理を行う。	

平成22(2010)年7月14日

字幕付きCMの取り扱いに関する検討方針（要旨）

民放連・営業委員会

字幕付きCMの取り扱いについては当面、以下の方向で検討を進める。

1. 検討の目的と方向性

検討にあたっては、番組の字幕付与と同様、まず在京テレビ5社でトライアルを実施し、その状況や課題・問題点などを情報共有することからスタート。一定の情報蓄積が整った時期に民放テレビ全社に情報開示し、各社で対応を進めることを想定する。

ただし、最終的には民放テレビ全社で、字幕付きCM素材の受け付けを可能とするシステムなどの改修・構築が必須となるため、各社の設備改修のタイミングや、それに伴う設備投資の問題などを含め、慎重に検討する必要がある。

搬入されるCM素材は、クローズドキャプションの字幕データが重畳されたHD素材を前提とする。一方、放送局側では、字幕付きCM素材が搬入された場合に、CMバンクから安全・確実に自動送出できる仕組みを備えることが目標となる。

また、字幕付きCMの素材の出稿・制作・搬入については、広告主・広告会社側の取り組みと協力が不可欠なため、日本広告業協会などと連携した作業、情報共有を図る。

2. 検討組織・検討事項

営業委員会・業務専門部会の下部組織として、平成22(2010)年2月に設置した「字幕付きCMに関するWG」（在京テレビ5社のCM責任者を中心に構成）で検討を進める。その過程で、必要に応じて、大阪・名古屋やその他地区の意見を聴取する。技術的な検討課題については、技術委員会の協力を得ながら対応を進める。

「字幕付きCMに関するWG」では、在京テレビ5社で実施したトライアルを踏まえ、課題・問題点などを情報共有した上で、▽搬入ルール(技術的要件などを含む)、▽考査、▽放送確認のあり方——などについて検証を進める。

3. トライアルについて

民放連として搬入ルールなどを取りまとめる前に、在京テレビ5社に対して字幕付きCMの出稿要請があった場合の対応は、各社の判断とする。その場合の取り組みは、“トライ

アル(実験的な取り組み)”として位置づける。

在京テレビ5社において、トライアルとして実施することを判断した場合は、今後の搬入ルールなどを検討するうえで重要な事例となるため、対応・実施のプロセスなどを含め、「字幕付きCMに関するWG」で情報共有する。

また、在京テレビ5社以外の社で、字幕付きCMのトライアルを実施する場合は、事前に、WG委員を通じて「字幕付きCMに関するWG」に連絡するとともに、実施結果についても報告することを原則とする。

以上

字幕付きCMのトライアル実施概要

※ 2010年2月から2013年9月の間に実施されたトライアルの概要をテレビ社ごとに記載。
 ※ 継続中のトライアル事例は3カ月ごとのデータに取りまとめている。

(22事例)

実施社	TBSテレビ
広告主	パナソニック株式会社
CM素材 (搬入媒体)	60秒×1タイプ (HDCAM)
放送日時	2010年3月22日(月) 20時00分～20時54分 パナソニックドラマシアター「ハンチョウ(最終回)」(28局ネット)内
放送形態	デジタル放送、アナログ放送、ワンセグ放送
送出形態	本編同様の番組サーバー収録および送出

実施社	TBSテレビ
広告主	花王株式会社
CM素材 (搬入媒体)	15秒×16タイプ 30秒×52タイプ (HDCAM(1月13日～4月6日)、XDCAM(4月13日～27日))
放送日時	2012年1月13日(金)～4月27日(金)間の毎週金曜日 23時～23時30分 『A-Studio』(TBSテレビ系列28局)内のネットCM全枠150秒 ※特別編成などで放送時間に一部変更あり
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送 (IBC岩手放送、東北放送、テレビユー福島は、3月30日までアナログ放送も実施。テレビ山口は、デジタル放送のみ(ワンセグ字幕サービスなし)で実施)
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	TBSテレビ
広告主	花王株式会社
CM素材 (搬入媒体)	15秒×21タイプ (HDCAM) 30秒×33タイプ (HDCAM)
放送日時	2012年10月5日(金)～12月28日(金)間の毎週金曜日 23時～23時30分 『A-Studio』(TBSテレビ系列28局)内のネットCM全枠150秒 ※特別編成などで放送時間に一部変更あり
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送 (テレビ山口は、10月5日、12日のみデジタル放送のみ(ワンセグ字幕サービスなし)で実施)
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	TBSテレビ
広告主	花王株式会社
CM素材 (搬入媒体)	15秒×12タイプ (HDCAM) 30秒×29タイプ (HDCAM)
放送日時	2013年1月4日(金)～3月29日(金)間の毎週金曜日 23時～23時30分 『A-Studio』(TBSテレビ系列28局)内のネットCM全枠150秒 ※特別編成などで放送時間に一部変更あり
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	TBSテレビ
広告主	日立グループ
CM素材 (搬入媒体)	30秒×3タイプ (HDCAM) 60秒×3タイプ (HDCAM)
放送日時	2013年2月16日(土)～5月18日(土)間の毎週土曜日 21時～21時54分『世界ふしぎ発見!』(TBSテレビ系列28局)内の120秒 ※2月16日、3月16日は180秒。※特別編成などで放送時間に一部変更あり
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	TBSテレビ
広告主	花王株式会社
CM素材 (搬入媒体)	15秒×15タイプ (HDCAM) 30秒×26タイプ (HDCAM)
放送日時	2013年4月5日(金)～6月28日(金)間の毎週金曜日 23時～23時30分『A-Studio』(TBSテレビ系列28局)内のネットCM全枠150秒 ※特別編成などで放送時間に一部変更あり
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	TBSテレビ
広告主	花王株式会社
CM素材 (搬入媒体)	15秒×8タイプ (HDCAM) 30秒×29タイプ (HDCAM) 60秒×1タイプ (HDCAM)
放送日時	2013年7月5日(金)～9月27日(金)間の毎週金曜日 23時～23時30分『A-Studio』(TBSテレビ系列28局)内のネットCM全枠150秒 ※特別編成などで放送時間に一部変更あり
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	日本テレビ放送網
広告主	社団法人デジタル放送推進協会〔Dpa〕
CM素材 (搬入媒体)	15秒×2タイプ (HDCAM)
放送日時	2010年6月6日(日) 24時50分～25時20分「ドキュメント'10」 6月7日(月) 15時55分～16時53分「ゴゴドラ」 6月8日(火) 15時55分～16時53分「ゴゴドラ」 6月13日(日) 25時20分～25時50分「ドキュメント'10」 ※ いずれもSB枠内に1本放送
放送形態	デジタル放送、アナログ放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	日本テレビ放送網
広告主 (順不同)	株式会社東芝 株式会社トヨタマーケティングジャパン ライオン株式会社 朝日生命保険相互会社 株式会社アートネイチャー
CM素材 (搬入媒体)	株式会社東芝：60秒×2タイプ (HDCAM) 株式会社トヨタマーケティングジャパン：60秒×1タイプ (HDCAM) ライオン株式会社：30秒×2タイプ (HDCAM) 朝日生命保険相互会社：30秒×1タイプ (HDCAM) 株式会社アートネイチャー：60秒×1タイプ (HDCAM)
放送日時	2011年3月5日(土) 10時30分～11時25分 「なんくるないさあ～聴覚障がいをもつ息子と歩んだ6年～」(日本テレビ系28局ネット)内360秒
放送形態	デジタル放送、アナログ放送、ワンセグ放送
送出形態	CMバンクファイリングによる送出

実施社	テレビ朝日
広告主	キャノンマーケティングジャパン株式会社
CM素材 (搬入媒体)	15秒×2タイプ (HDCAM) 30秒×9タイプ (HDCAM) 60秒×1タイプ (HDCAM) 150秒×2タイプ (HDCAM)
放送日時	2013年7月14日(日)～9月29日(日)間の毎週日曜日 18時30分～18時56分 「奇跡の地球物語」(テレビ朝日系列24局)内の150秒
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	フジテレビジョン
広告主	社団法人デジタル放送推進協会〔D p a〕
CM素材 (搬入媒体)	15秒×2タイプ (HDCAM-SR)
放送日時	2010年6月7日(月) 26時55分～27時50分 「ドキュメンタリー大賞」内 6月8日(火) 4時25分～5時25分 「めざにゅー」内 6月9日(水) 15時00分～15時57分 「大奥第一章(再)」内 6月10日(木) 15時00分～15時57分 「大奥第一章(再)」内 ※ いずれも番組枠内に1本放送
放送形態	デジタル放送、アナログ放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	フジテレビジョン
広告主	ライオン株式会社
CM素材 (搬入媒体)	15秒×4タイプ (HDCAM-SR) 30秒×3タイプ (HDCAM-SR)
放送日時	2010年11月8日(月)～11月12日(金) 13時～13時30分 「ライオンのごきげんよう」(フジテレビ系列28局および番組販売局2社)内の180秒
放送形態	デジタル放送、アナログ放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	フジテレビジョン
広告主	花王株式会社
CM素材 (搬入媒体)	15秒×4タイプ (HDCAM) 30秒×25タイプ (HDCAM) 60秒×1タイプ (HDCAM)
放送日時	2011年8月21日(日)～9月18日(日)間の毎週日曜日 21時～21時54分 ドラマチックサンデー 『花ざかりの君たちへ～イケメン☆パラダイス2011』(フジテレビ系列26局〈番組販売局は除く〉)内のネットCM全枠330秒
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送(岩手めんこいテレビ、仙台放送、福島テレビはアナログ放送でも実施)
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	フジテレビジョン
広告主	花王株式会社
CM素材 (搬入媒体)	15秒×17タイプ (HDCAM) 30秒×39タイプ (HDCAM) 60秒×2タイプ (HDCAM)
放送日時	2012年10月14日(日)～12月23日(日)間の毎週日曜日 21時～21時54分 ドラマチックサンデー 『東京エアポート』(フジテレビ系列26局)内のネットCM全枠330秒
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	フジテレビジョン
広告主	花王株式会社
CM素材 (搬入媒体)	15秒×15タイプ (HDCAM) 30秒×28タイプ (HDCAM)
放送日時	2013年1月13日(日)～3月24日(日)間の毎週日曜日 21時～21時54分 ドラマチックサンデー 『dinner』(フジテレビ系列26局)内のネットCM全枠330秒
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	フジテレビジョン
広告主	ライオン株式会社
CM素材 (搬入媒体)	32タイプ (HDCAM)
放送日時	2013年4月1日(月)～6月28日(金) 13時～13時30分 「ライオンのごきげんよう」(フジテレビ系列28局および番組販売局2社)内の180秒
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	フジテレビジョン
広告主	ライオン株式会社
CM素材 (搬入媒体)	11タイプ (HDCAM)
放送日時	2013年7月1日(月)～9月30日(月) 13時～13時30分 「ライオンのごきげんよう」(フジテレビ系列28局および番組販売局2社)内の180秒
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	フジテレビジョン
広告主	花王株式会社
CM素材 (搬入媒体)	50タイプ (HDCAM)
放送日時	2013年4月21日(日)～6月30日(日)間の毎週日曜日 21時～21時54分「あすなろラボ」(フジテレビ系列28局)内のネットCM全枠330秒
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	フジテレビジョン
広告主	花王株式会社
CM素材 (搬入媒体)	40タイプ (HDCAM) 〈うち、ARIB素材36タイプ〉
放送日時	2013年7月7日(日)～9月29日(日)間の毎週日曜日 21時～21時54分「あすなろラボ」(フジテレビ系列28局)内のネットCM全枠330秒
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	テレビ東京
広告主	花王株式会社
CM素材 (搬入媒体)	15秒×2タイプ (HDCAM) 30秒×5タイプ (HDCAM)
放送日時	2012年10月6日(土)～10月27日(土)間の毎週土曜日 21時54分～22時 『ぴかぴかマンボ』内の60秒
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	テレビ東京
広告主	花王株式会社
CM素材 (搬入媒体)	15秒×2タイプ (HDCAM) 30秒×16タイプ (HDCAM)
放送日時	2013年7月6日(土)～9月28日(土)間の毎週土曜日 21時54分～22時 『ぴかぴかマンボ』内の60秒
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出

実施社	毎日放送
広告主	パナソニック株式会社
CM素材 (搬入媒体)	30秒×4タイプ (HDCAM) 60秒×5タイプ (HDCAM)
放送日時	2013年8月24日(土)～9月28日(土)間の毎週土曜日 7時30分～8時 『サワコの朝』(TBSテレビ系列28局)内の120秒
放送形態	デジタル放送、ワンセグ放送
送出方法	CMバンクファイリングによる送出